

## きらきら発電の歩み(3)

# 自然エネルギーの仲間作り

### きらきら発電ニュース発行

私広幡が得意とする分野がニュース(会報)発行と仲間作りです。そう自信をもって言えるのは、宮城民医連事務局に勤めた12年間、みやぎ民医連の会報の担当と医学対(学生勧誘)を仕事にしていたからです。現在のみやぎ民医連会報の粹無しスタイルを作ったのも私です(産経フジに似せて)。

仕事で培ったニュース作りは、自然エネルギーの仲間作りに生かすことができました。きらきらニュース第1号(2014年12月)が井土浜・もりの子の紹介です。ニュース第3号では、福井県福井駅前商店街「市民共同節電所」の紹介もしています。ニュース第13号では3・11メモリアルアクションの宣伝をしています。

ニュースはデジタルとアナログの双方で作成しています。水戸部氏がIPを作成してくれて、毎回ニュースを張り付けてくれます。遠い所にいる読者20名には郵送でお送りしています。そして私自身は車が好きなので、東は塩釜、南は岩沼、西は青葉区、北は大和町まで、今や360軒のニュース配達を毎月一人でこなしています。自分の作ったニュースを読者に早く届けたいという一念で。しかもその想いはしっかりと読者に伝わっています。毎月読者から反応があるからです。

泉病院屋上太陽光建設基金を募集しているときは、配達を終えた後の一週間、必ず振り込みが続きます。ありがたい反応です。ごく最近で言えば、「2024年3月の脱原発集会は どうやって千人を超えるのか」という質問。「韓国映画雪道の再上映はないか」という質問。「泉基金はまだ間に合うか」という質問。逆にエコキュート対策の記事を送ってくれる方、などなど。配達に毎月4日はかかりますが、こういう反応でいやされます。

もちろん、配達の際の思わぬ渋滞に出会ったときのくやしき。泉区賀茂神社前でのどんと祭の渋滞。年初の岩沼竹駒神社での渋滞など、神社は私にとって鬼門です。オリンピック宣伝企画でも、JR塩釜駅周辺の道路封鎖に辟易しました。でもそれらの体験の中で市民の生活を垣間見ることができる楽しみもあります。いずれにしる、2024年2月現在で120号まで発行できた喜びはひとしおです。

最近のトピックで言えば、水戸部理事長の手とお孫さんの手を一緒にした写真を掲載できたのが、ニュース編集者としてのささやかな幸せでもあります。なお600部まで配達を上げた時期もありましたが、自分の体力が追い付かなくなり、反応のない方々を対象から外して、現在の数に落ち着いています。

きらきらニュースはきらきらに直接関係ない人にも影響を与えています。「仙台市朴沢小水力発電所」や「白石市福岡弥次郎小水力発電所」をインターネット検索すると、画面にきらきら発電ニュースが登場。きらきらしか紹介していないからです。

### 学習講演会の開催

仲間作りの大事な企画は学習会です。その時々自然エネルギーに関する学習会を企画するのが、仲間を広める大事な企画です。2015年当時、市民発電所の取り組みはあまり知られていませんでした。まずは自然エネルギーを市民が取り組める、そのことの宣伝が必要でした。

NPO法人を結成して最初に企画したのが、先輩川崎市民共同発電所の取り組みの紹介学習会でした。翌2016年には電力小売り自由化が制度化され、電力自由化に関する学習会を4度開催しました。さらに地球温暖化問題が市民の意識に上ってきて、仙台港火力発電所・バイオマス発電所問題について、2017年から昨年まで繰り返し学習会を企画してきました。そして最近「出力制御(抑制)」問題に力を入れています。

### 仲間作りと交流

自分だけで満足せず「市民電力の輪を広めることは、未来を作ること」(地球温暖化を防止し、脱原発社会を作る)との思いで、地道に仲間作りと仲間との交流を進めてきました。最初はエネシフカフェ・エネシフみ



やぎを知ったこと。2016年4月のエネシフみやぎのシンポジウム(表の写真)は圧巻でした。その中でひっぽ電力の設立を知り、自分たちも仲間作りをしなければと思立ち、後におながわ市民共同発電所を作る高野博さんたちに声掛けをしたのです。16年12月に結成されたおながわ市民共同発電所(写真右)は利益を地域の若者の奨学金に還元するという、すばらしい活動を今実践しています。そして2018年5月にみやぎ地域エネルギー合同会社が設立され、翌2019年にはみやぎ地域・市民電力連絡会が結成されます。一粒の種だった市民発電所が、このように宮城の中で広がっていったのです。



## 泉病院屋上太陽光発電 設置2025年に!

現在進行中の財団公益法人宮城厚生協会泉病院の新病院建設が予定より遅れ、2025年3月引き渡しとなりました。そのため、屋上太陽光発電の設置は2024年から2025年に変更となります。理由は、宮城県に補助金申請した場合、申請した年の11月までに完成させなければいけない条件がついているからです。



## 南中山9号機5月13日発電開始 10号機は台原多々良邸に決定

2023年度事業として進めてきた南中山9号機(仙台市泉区南中山・岩間邸・4.8kw)が4月27日完成(写真右)し、5月13日より発電が開始されました。なお屋根借り太陽光2024年度事業(きらきら10号機)は仙台市青葉区台原の多々良邸(4.6kw)への設置が決まり、5月9日東北電力に設置申請しました。



## 7月7日さよなら原発女川集會にマイクロバスで参加

来たる7月7日(日)午後1時半から3時、原発立地自治体の女川町生涯学習センターで、「女川町にて原発ゼロで生きる方法」と題した学習講演会が開催されます。NPOきらきら発電ではマイクロバス(27人乗り)を仕立て、みんなでこの集會に参加することを決めました。バス代は1人3,000円。長町病院前午前8時出発、泉区加茂神社前8時45分出発と、集合場所は2か所です。午前中、大川小学校を見学する予定です。帰りは加茂神社午後5時、長町病院午後6時の予定です。お昼は女川駅近くのお店で食事をしますが、自己負担です。

乗車希望者は右記電話またはメールにて事務局・広幡まで申し込みください。定員になり次第、受付は終了します。

きらきら発電・市民共同発電所 ニュース  
2024年6月116号  
〒981-3215 仙台市泉区  
北中山3丁目17-12  
070(2010)3777  
HP [kirakirahatuden.com/](http://kirakirahatuden.com/)  
[hirohata3888@outlook.jp](mailto:hirohata3888@outlook.jp)